

関西大学社会安全学部

2022年度第1回社会安全学セミナー

話題提供：講演90分

伊藤 裕一 氏

(東京工業大学

環境・社会理工学院 特任教授)



「橋の老朽化と安全
～建設後50年を超過した構造物は危ない?～」

日時：2022年6月30日（木）14：40－16：10

場所：高槻ミューズキャンパス（西館）6階 M602

2022年度社会安全学セミナーの第1回目は、外部講師として東京工業大学の伊藤裕一特任教授をお招きして、長期間使用されてきた土木構造物の劣化の現状と課題について話題提供いただきます。

2012年に発生した中央自動車道笹子トンネル事故などを契機に、土木構造物の維持管理の重要性が改めて認識されると共に、我が国の土木構造物の老朽化や更新の必要性について議論される機会が増えています。50年以上使い続けられてきた鉄道鉄桁の現状を実例により紹介するとともに、専門家の視点からはどのような現象が危険と考えられるのか、負担を大幅に増やすことなく安全を確保するためにはどうするのがよいかについてご講演いただきます。

多数の皆さんの参加をお待ちしています。

社会安全学セミナーの開催は決まり次第、告知用のポスターを作成し、関西大学ホームページおよび社会安全学部ホームページ上にてお知らせしております。

担当：林 能成(社会安全学部) Tel: 072-684-4152(直通) Mail: yhayashi@kansai-u.ac.jp